

令和7年度 第1回あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 議事録

| | |
|-----------|---|
| 開催日時 | 令和8年2月26日(木) 午後2時から午後3時35分まで |
| 開催場所 | あま市役所 2階F会議室 |
| 出席委員(敬称略) | 武藤二三夫、川原史子、早川安広、立松愛唯、武舎妙子、谷口庄一、小坂井智弘、大橋一幸、菱田佳祐(代理)、下田英明(代理)、服部哲也 |
| 欠席委員(敬称略) | 中島純子、小林優太、木村考志、伊藤克仁 |
| 事務局 | 室田裕貴(企画政策課長)、説田将光(企画政策課主幹)、片岡篤志(企画政策課課長補佐)、峯佳吾(企画政策課主任) |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 傍聴人の有無 | 無 |
| 次第 | 1 開会 2 会長、副会長、座長選出 3 議題 (1) 現行戦略の一年延長について (2) 次期戦略の位置付けについて 4 その他 5 閉会 |
| 配布資料 | 資料1 第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和8年3月改訂版(素案)) 資料2 第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略 資料3 第2次あま市総合計画後期基本計画策定方針 |

| | |
|-----|--|
| | 1 開会 |
| | 2 会長、副会長、座長選出 (互選により谷口委員を会長兼座長に、川原委員を副会長に選出) |
| | 3 議題 |
| 会長 | 議題(1) 現行戦略の一年延長について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料1, 2に基づき事務局から説明) |
| 会長 | ただいま説明があった内容について、ご質問・ご意見等ございましたらお願いいたします。私から、総合計画と一体化させるということですが、この委員会は残るということですか。 |
| 事務局 | 総合計画の指標等はKPIを設定して、毎年数値を追うものではありませんので、一体化した際には総合戦略の部分が残っていて、この委員会でその数値の検証を行う形になります。今日の午前中行われた総合計画審議会については、総合計画ができた際には招集されません。 |

| | |
|-----|--|
| 会 長 | <p>午前中に総合計画審議会がありまして、この中でも両方参加されている方が多く、大変だとは思いますがよろしくお願ひします。この総合戦略の委員会は引き続き行われるということです。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は、あま市の人口をどうするかという非常に直接的な政策なので、もう少しとがってもいいのではと前から思っていました。この委員会は、行政や事務局にいろいろ注文をつける場ではなく、こうしたほうがい、こういうことをしてみたらどうかといった提案をする場にして、皆様のそれぞれの立場や団体の活動の中でできることを提案して、それを総合戦略としてまとめると、あま市らしさが出るのではないかと考えています。</p> <p>ここに挙がっている事業の内容は、総合計画でいいのではないかといいものも混じっていますので、総合計画では載せられない実行力のあるプランやプロジェクトをもっと出して、行政や事務局に検討していただくという場にしたいと考えています。できていないことを指摘するのではなく、こうすればもっと良くなる、素敵になるのではないかといい場になると、この委員会の存在価値がもっと出てくるのではないかと考えています。</p> |
| 委 員 | 令和3年3月の目標値を令和8年度に延ばして、第2期のものであるという理解でよろしいですか。 |
| 事務局 | 第2期が7年度までですので、引き続き令和8年度まで1年延ばすということです。 |
| 委 員 | この延ばしたものの中身に対してわれわれは意見してもいいということでしょうか。 |
| 会 長 | 1年延ばすことによって不具合があるかどうかのチェックですね。先ほどもありましたが、部署名が変わっているか変わっていないかとか、その辺も確認した上で、1年間不具合がなければいいという認識でいいですか。新しいことがあるということではないですね。 |
| 事務局 | ないです。 |
| 会 長 | 総合計画は、10年先20年先のあま市はどうあれば、みんな幸せか、またはあま市で暮らしたいのかという議論をしなければいけないのです。われわれは今やらなければ間に合わない、今やらなければいけないということを、皆様の所属されている団体や活動を活用して、動いて、位置付けるというイメージです。今回の改訂に限っては、1年間の延長なので、その不具合だけを確認ということです。 |
| 委 員 | 24ページに市民活動センター「あまテラス」登録団体数の指標がありますが、実際この登録団体数を指標にするのは、果たしていいのかという話は担当課ともしています。何のためにセンター運営しているかというのと、市と団体が協働をしていくためなので、登録団体だけが増えても実際はあまり意味がないと思います。実際にどれぐらい協働しているかという数値のほうがリアリティがあると思います。これ自体が前に作られているので、今見ると疑問に思うところは多々ありますが、あと1年で変えるのも大変だと思います。指標で検討する材料にするということであれば、こちらを検討していただくのがいいかと感じました。 |

| | |
|-----|---|
| 会 長 | <p>K P Iに関しては、社会情勢や経済情勢などのそのときの状況によって、見直しも当然あってしかるべきだと思います。ただ、登録団体がどれくらいあるのかというのはデータとしてやはり必要だと思います。重要業績評価指標なので、業績評価をしなければいけないので、この団体数を増やすというのは市民活動センターの努力目標としてあっていいと思いますが、それがどれだけの業績効果に繋がっているのかというのは、別の話だと思います。団体数だけが評価されるべきものではないので、他の団体とも意見交換していただいて、次の改訂に向けて評価指標について、ご提案をしていただくといいかと思います。</p> <p>行政サイドから行うとこういう数字になってしまうので、ぜひご検討いただければと思います。</p> |
| 事務局 | <p>今後、一体化するというところで、総合計画の90ページに「市民と育てる協働のまちをつくりまします」というところがあります。市民協働が必要だと感じている人の割合を、この総合計画では成果指標というふうにしておるのですが、その成果指標を達成するための展開方法が7つあります。</p> <p>この中に今後盛り込んでいく形で、総合計画の中で表現をして、そこから抜き出して総合戦略として管理していく形です。協働してイベントをした数というのは、実際に活動されている数だと思いますので、評価指標としてはいいと思います。その辺をまたお知恵をいただいて、総合計画、次期の総合戦略の両方に生かしていければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> |
| 会 長 | <p>いろいろと課題があって、行政で追えないようなものがあれば、当然、そういう活動が増えるのだと思います。逆にそれが今解決して、そういう課題がなくなれば、それに関わって活動している人たちの目標は達成するので、それは減っていいと思います。だから減っていくことも一つの指標なのかもしれないです。おっしゃるように、数で何かを評価するというのは確かに難しいと思います。何を評価していいかもよく分からないので、ぜひいいK P Iをご提案いただければと思います。</p> |
| 委 員 | <p>今後、協働の主体というのが、市民活動センターと市民活動団体という括りになっていたので、今日の総合計画にも文言が出ていましたが、多様な主体ということになった時に、そういう協働の対象が今後、変わっていく必要があるのかというところは、今後の総合計画で展開していったらいいのかなというのは感じています。</p> |
| 会 長 | <p>ほかに何かありますか。今は1年延長することに関してのお話ですが、よろしいですか。それでは、次第3議題（2）次期戦略の位置付けについて、事務局から説明をお願いいたします</p> |
| 事務局 | <p>（資料3に基づき事務局から説明）</p> |
| 会 長 | <p>ただいま説明がございました。総合計画・総合戦略とあって、総合計画の中に総合戦略を組み込むということです。僭越ながら私が総合計画の委員会のほうも名前を連ねており、ここで話し合ったことを総合計画の中に反映させるという繋ぎのような役割を拝命していますので、関わらせていただいています。分かりづらければ分かりづらいということをご正直に言っていただければと思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | 母子寡婦福祉会というひとり親のサポートをする団体の立場からです。離婚してお母さんと子どもだけになった人たちの団体なので、人口を増やすというお役には立てないかなと思ったりしています。そうすると婚活パーティーみたいのを開いていくというような形になるのか、そういう柔らかい発想しかないものですから、自分がこの立場でどういう案を出すべきなのかがよく分かりません。 |
| 会長 | 現場がこうなっているから、こういうことをしてはどうかという話はこの委員会で行うべきなんです。そういうひとり親の家庭をなくすべきなのか、それともそれは認めて、共生できる社会になるべきなのかというのを議論するのは総合計画なのです。例えば、婚活パーティーがあったほうがいいのか、そういう相談窓口があったほうがいいのかという議論などはこちらで提案していただければと思います。 |
| 委員 | 海部津島地区でこの母子福祉会があるのはあま市だけです。他の津島市や弥富市は解散しています。今、その人たちにも声をかけるような活動を始めているので、あま市に来るとそういういろいろな支援の情報が入るということはできます。 |
| 会長 | ドイツにフライブルクという都市がありまして、その近くにヴォーバン団地という住宅街があります。そこにキンダーガルテンといういわゆる幼稚園を真ん中に置いて、それを取り囲むようにアパートがありまして、ここはいわゆる母子家庭の人たちが優先的に入れるエリアになっていて、当然、子どもが大きくなればまた別のところ移っていきます。例えば、そういうことがあま市にあるだけでも、あま市で子どもを育てようとなるのではないかと思います。周辺市町村にそういうのがなければ、あま市の一つの尖った部分にはなると思いますので、そういう議論を積極的にしていただいて、アイデアを出していただければと思います。 |
| 委員 | 策定スケジュールの令和7年度の1月の黒丸は何でしたか。2月の白丸は。 |
| 事務局 | 当初の予定で、一緒になって今日を迎えております。 |
| 委員 | 自分は市民活動センターの運営をしているNPO法人の中間支援を担っています。いろいろな主体を繋いで、それぞれが持つ強みを合わせることによって、1団体ではできないシナジーを生み出すような動きのセンターをあま市で設立して12年目になります。団体が増えるといいですが、10年経ちますとシニアを中心としている団体は減っています。若者の団体もあるのですが、彼らは支援を必要としません。なぜなら、広報も自分たちでやりますし、見えないところで活動しています。センターができたときの市民活動と、今の若い人たちとの感覚が違う感じがするのです。そういう若い人たちのボランティアにも軽やかに参加するような若者世代が、このまちで活躍できる環境づくりをどうやっていけばいいか、センターでもいろいろ議論をしています。多様な主体で団体という要件に縛られずに、いろいろな人が一緒になって何かができるつながりが作れる仕組みがあればいいという話はしています。 私がかかわっているものだと、市民活動ボランティア分野とAMA創業塾になります。AMA創業塾は2年目が終わって来年度も多分計画されていると思います。創業塾を卒業した事業者の卵が、まちづくりを入り口として事業を展開したい思いもあります。そういう |

| | |
|-----|---|
| | <p>元気のある人たちが、まちづくりに取り組んでいくところを盛り込んでいただければと思います。</p> |
| 会 長 | <p>最近の若い人たちはクラウドファンディングを使って自分で資金調達をして目的達成したら解散してしまいます。やっていることはそんなに変わってないのですが、仕組みが時代とともに変わっている部分は確かにあると思います。事業資金の調達でも資金を銀行などの金融機関から借りるに際して、事業計画書を作るサポートする組織があると非常に助かったのですが、今はそれもネットで行われています。</p> <p>うまく取り入れていけないといけない部分と、それを取り入れることができないけれども、意欲のある人たちをどのように取り込んでいくかになると思います。大学でソーシャルビジネスの話もするのですが、急速に形が変わっているので、教えずらい部分はあります。</p> |
| 委 員 | <p>スケジュール管理の最終確認ですが、7年度は1月、3月ということですが、2月で終わるのか、3月も行うのか教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>3月に開催します。</p> |
| 委 員 | <p>来年度の8年度が実質的な次期の計画や戦略作りということで理解してよろしいですか。</p> |
| 事務局 | <p>はい、そうです。8年度については、総合計画・総合戦略をリンクさせながら開催したいと考えています。具体的には7月に素案があって、11月に計画が固まり、パブリックコメントをして、2月に皆様に最終的な判断をしていただくという流れで予定をしています。</p> |
| 委 員 | <p>観光協会では前向きにいろいろな事業展開を事務方に頑張ってやっていただいています。ただ人口増加につながる直接的な施策ではありませんが、会長からもお話がありましたように、豊臣兄弟の顕彰碑も出て、いろいろPRもできています。事務局職員もインスタグラムでいろいろなものを紹介しており、今後も魅力発信という形で積極的にやっていきたいと思っています。</p> <p>計画作りにおいて立場としていろいろな分野があるので、先ほど会長も言われましたが、役所にどうしてこんなことができないのかということではなく、一委員として、こういうことをすればもっと魅力あるまちになるのではないですかという提案をできればと思います。</p> <p>指標の問題は来年話すことになると思いますが、どうしても結果怖さに出したくない指標や出さない部分もあります。計画作りは行政職員の自己満足な面もあって、ある程度政策を打ってそれを認めてもらおうという部分もあります。活字を作るのは非常に難しい話ですが、それは市民に行政マンが作ったものと言われるよりは、小さなところにスポットを絞って、達成できるような形のほうがいいのではないかと思います。</p> |
| 会 長 | <p>観光は交流人口があるので、来てもらって、「あれ？あま良いよね」という人で人口を増やすこともできます。何千人とは来ませんが、そういう人があま市のPRをしてくれるのです。もう一つは、美和高校と関わっているので、地域探究科の子どもたちは、あまの観</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>光に大きな興味を示していて、私もお手伝いしながらいろいろと研究が行われています。そういう子どもが見つけてきたことを、大人がうまくプロジェクト化して支援できればと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>美和高校は市とも繋がりが強いですし、その関係を生かしていきたいと思います。せっかく若い子たちがボランティアで地域のことをやろう、地域に根ざした人になろうという考えで参加していただいていますので、機会あるごとにご参加いただけるようなタイミングをとっていきたくと考えています。</p> |
| 委員 | <p>老人クラブの会長をしています。今年の3月に会長の任期が終わります。老人クラブでやっていることは、いかに健康で長生きをしていただくかということを目指してずっとやっています。若い頃から超高齢化が来るということを思っていましたので、20代から30代までは徹底的に山で体を鍛えました。そのおかげで現在81歳になりますが、医者にかかったり健康診断を受けたりということもありません。現在では、目標100歳まで健康で生き抜くという気持ちでおります。老人クラブでもできるだけ積極的に、体の健康的なことを主に進めて、スポーツ大会などをやっております。昔、町民運動会がありましたが、リレーで抜かれたらやめようと思いましたが、残念ながら33年間抜かれたことがありませんでした。あの当時、金銀銅メダルを七宝焼で作ってまして、そのメダルを数えましたら全部で20個、金が9個、銅と銀が半々くらいで、今でも走って良かったなと思っております。</p> <p>私は生まれも育ちも七宝で、他の県にも7年くらい行っていました。東京では通勤時間が2時間以上掛かることも珍しくない中、七宝は名古屋が近く通勤がしやすいです。また東京はアパートが高いことを考えると、こちらのほうがはるかに住みよく、まだまだ発展性はあると思っております。</p> <p>私にはあま市に大きな野菜の工場を誘致するという夢があります。今は空き家、空き地がたくさんありますので、これを有効活用していただいたら必ず成功すると思っておりますし、将来的にはあま市のほうも誘致を積極的にやっていただきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。世の中は無責任に人生100年時代と言っていますが、100年生きていくのは本当に大変だと思います。社会から必要とされていけば楽しいと思えますし、委員のように目的や目標がはっきりしている人はいいですが、ない人は大変だと思います。それがすごく社会で病んでいくのかと思います。あま市に住んでいると100年でも楽しいよというビジョンは、総合計画でぜひ書いてほしいと思います。</p> |
| 委員 | <p>地域の食と農を守る、地域の暮らしを元気にしていこうということを理念にして事業活動をやっています。その中での活動のひとつに食農教育があります。これは小学校への出前授業であったり、収穫体験であったり、農業に若い時から親しんでもらおうということもやっています。最近では、金融リテラシーや相続セミナー、特殊詐欺から身を守るような教室も行っています。生活分野でも、スマホ教室や、女性の会員参加者を招いてヨガ教室も開催しています。この間はあま市と一緒に、婚活パーティーも行いました。地域を元</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>気にしていこうという思いがあります。目指すところが似てるのではないか、思いは同じなのではないかと思っています。</p> <p>先ほど野菜工場のお話がありましたが、名古屋に近い消費地ということと、JAも食と農を豊かにしたいという思いがありますので、ファーマーズマーケットのようなものをこの近辺にできたらいいなということをして、2、3年前までよく話していました。最近では下火になっていたの、改めて、そういうことも考えながらやっていきたいと思っています。</p> |
| 会 長 | <p>名古屋に近接しながらこれだけの農地が広がっている強みを生かして、ぜひリーダーシップをとってご提案をしていただければと思います。</p> |
| 委 員 | <p>この委員会が1年延長するという話ですけれども、大変申し訳ございませんが、私はこの3月でおしまいですから、ちょっと無責任なことをいくつか言わせていただくことになるかもしれません。</p> <p>あまり皆さんご存じないかもしれませんが、この名古屋の周辺といいますか、いわゆる尾張地区、尾張地域というのはですね、高校でいいますと3つのブロックがあります。北のほう犬山・江南あたりのところは尾北地区といいます。それから一宮市を中心とした辺りは尾中地区、それからこの海部津島・稲沢あたりのところは、尾西地区と言います。あま、津島、稲沢あたりの尾西地区は小学生、中学生の減少率が著しく、他地域を大きく上回ります。また、この他地区への高校進学率が、3地区の中では唯一50%を超える地区となっています。理由のひとつは名鉄津島線があるので、出ていきやすいというアクセスの良さがあるかもしれません。</p> <p>それからあま市内の小中学生のことを「あまっこ」と言うようなことをよく耳にするのですが、この「あまっこ」の皆さんをどうやってこのあま市内にある2校の高校に残すことができるかということが鍵であり、やらなくてはいけないことかと思っています。</p> <p>美和高校は県の教育委員会や文科省が入って、中高連携ということや、地域探究というようなこともやっています。五条高校では特にそういうものはありませんが、レールに乗ってやっていくということではなくて、単独でこの地域の小中学生と関わるような取り組みをやっています。例えば、夏休みに萱津神社で、地元の小学生に勉強を教える、「夏休み仲間学習会」をNPO法人の方たちと一緒にやっています。それから五条高校のすぐ隣の甚目寺東小学校の小学生と、合同で理科の実験会をする機会があります。私がすぐに思い浮かぶところで、身近でできることは何かと言えば、部活や学習での小・中・高の連携がやりやすいのではないかと思います。</p> <p>先ほどの歴史的な財産があま市にはあるということで、本校でも甚目寺の歴史ということをやっている教員もおります。シルバーカレッジの卒業生の方たちにこの夏にも講義をしたことがあって、大変好評だったと聞いています。歴史的な要素以外にも、市の出身のアーチェリーやフェンシングのオリンピックがいらっしゃいます。そういう方たちにご協力いただいて、小中学生にスポーツ教室をするということが魅力発信につながるのではないかと思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| 会 長 | <p>五条高校は確かビジネスプランコンテストで入賞されたりしてますね。アントレプレナーの卵のような人たちがたくさん出てくると、あま発のビジネスとかが繋がってくると非常に夢があると思いますので、ぜひそういったマインドを継いでいただければと感じております。</p> |
| 委 員 | <p>この会に参加させていただいて、美和高校に多くのご尽力賜わって本当に感謝申し上げます。この会で誰も知らないかと思いましたが、知っている方々ばかりで本校の教育活動にご尽力いただいている方たちばかりです。本校は、地域探究科が文科省の普通科改革支援事業で立ち上がった形で今年度始まりました。学科については会長の谷口先生に入ってもらって授業もしていただいています。</p> <p>令和8年度入学者選抜で2期生が入ってくるのですが、希望者がほぼ定員を満たす形で進んでいます。美和高校は、あま市の生徒が半分くらいいるのですが、一方で、本校の地域探究科に対して、他の市町の生徒が希望し出願し受験し入学してくれている状況があります。</p> <p>地域探求科であまの良さを学んで、卒業して大学進学のために出ていっても、最終的にあま市に戻ってきて就職している生徒も多くいます。あま市で生まれ育って卒業して戻ってくる子たちだけでなく、名古屋市や近隣の子たちが、たまたま縁があつてうちの学校に来て、そこで育って学んだあま市に魅力を感じて、あま市に移住して住むということができるようになれば、実りのあることだと思います。ありがたいことに地域探究科は、全国から興味を持っていただいている、毎月1校から2校くらい視察が来ています。今年だけでも10校くらい来ていただいている、この前は2月の中旬に青森北高校が来て説明をさせていただきました。</p> <p>本校がやっていることに興味を持っていただいている団体の方とつながりを持っていくことで生徒が増えて、最終的にあま市に残っていくという流れになるのではないかと実感しています。</p> <p>地域活動部というボランティア活動の部活があり、その子どもたちがいろいろな活動でお世話になっていますので、そういうつながりが最終的にあま市の良さを感じる瞬間なのだろうと思っています。</p> <p>本校には自己有用感があまり高くない生徒も多いので、あま市の方々や大学の協力を得て、力を身につけたと感じると、それが縁となってまた戻ってくると強く実感しています。</p> <p>私も美和高校で長く教員をしてきて、生徒たちの様子を見ると、あま市には良さがあると思って我々が接していくことが一番大事で、魅力発信をきちんと理解させて探究させることができるかどうか大きなポイントだと感じています。いろいろな団体の力をいただいて進めていくと、10年後、20年後のあま市につながるのではないかと感じています。私もまさか15年もいると思っていなかったもので、いつまで任期があるか分かりませんが、いる限りは必死にやらせてもらいたいと思っています。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>今後もいろいろな活動で高校生が必要な瞬間があると思いますので、お声かけいただければできることがあると思います。また、それが生徒に還元されていくのではないかと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 会 長 | <p>私の研究所の調査によると、地元の高校生に元気があるところが、やはり活気があります。大学はいろいろな地域から来るので、あまり地元意識がないですが、高校生は地元意識を持って、子どもたちが活動しているところはユニークな事業が生まれたりまちおこしができたりしていますので、五条高校も美和高校も新たな提案があればしていただければと思います。私も今まで東海市にメインキャンパスがあったのですが、今度、名古屋の丸の内に私の研究室を移すことにしましたので、本格的にあま市が私の研究室のフィールドワークの対象になります。うちのゼミ生とこちらの高校生たちと連携したいと考えております。高校は3年間で、大学は4年で学生が入れ替わってしまうので、10年、20年の計画ではなく、目の前のプロジェクトをいかに成功させるかという組織ですので、それをフル活用したいと考えています。</p> <p>昨日は下呂市の県立高校に探究の時間のアドバイスが欲しいということで行ってきたのですが、下呂市はやはり地元率がほぼ100%という高校でした。その高校が下呂の未来の全部を担っているような人材育成の場になっています。そういうところが本格的に探究の教育を始めたら、本当に強い地域になるのだろうなど見ていたのですが、私が一生懸命やればやるほど、うちの大学を飛び越えていく子がたくさん出て行ってしまい、私は大学の事務局長から怒られるのですが、教育者としては積極的に飛び越えて行ってほしいと思っています。あまから面白い人材が生まれて、またそれを呼び戻す魅力のあるあまにしなければいけないと思います。</p> |
| 委 員 | <p>三菱UFJ銀行として、今回委員として参加させていただきます。三菱UFJ銀行ではここ数年、社会課題解決として、地域課題や地域貢献として、その各地域で活動する皆様と一緒に、イベントや企画を行っています。社協の皆様や観光協会の皆様、NPO法人などの団体とわずかながらの資金と人手を出して各地域が盛り上がりつつある仕掛けをやらせていただく活動をしています。</p> <p>我々もあま市に店舗を、構えさせていただいている縁もありますので、尾張新川支店は決して大所帯ではなく、手広く皆様と活動というのは難しいかもしれませんが、小さいことからでも資金や人手などを一緒に解決していきたいと考えています。皆様から出た意見を形にするところでご協力できればと思っています。</p> |
| 会 長 | <p>御社が取り組んでいらっしゃる事例などの紹介をさせていただいて、こういうことはあまでもできるんじゃないかというようなことをご提案いただければと思っていますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 委 員 | <p>まち・ひと・しごと総合戦略では、人口減少を重点課題の一つとしており、冒頭で会長が人がいなければ総合計画も意味がない、人口減少をなんとか食い止めると言った言葉がすべてだと思っています。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>あま市では、市街化区域では人口が微増していますが、調整区域については人口が減っています。全体としては、ピークを過ぎて減少しています。令和9年度から市街化区域で都市計画税を導入して、魅力あるまちづくりを進めていき、防災に強いまちづくり、人を呼ぶまちづくりで人口減少を食い止めて、魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。さまざまな立場の方の柔軟なご意見をいただくことで、われわれの知らない部分の意見が頂戴できると思いますので、皆様の忌憚のない自由なご意見をいただいて、まちづくりを進めていきたいと思っております。今後の10年20年先の魅力あるあま市を作って行きたいと思っておりますので、皆様よろしくお願ひします。</p> |
| 会 長 | <p>先日、広島県の宮島に調査に行きました。あそこは島に入るのに100円取られるのですが、その時に、そのお金がどこに使われたかというのがはっきりわかるようになっていて、実はトイレ、公衆トイレなんですけど、綺麗に作られていて、それがちゃんと皆さんから徴収したもので整備されていますっていうようなことがちゃんとはっきりしているんですね。お金がどこに使われたかがとてもはっきり分かるようになっているので納得できるのです。</p> <p>都市計画でも、一般市民には、都市計画税がどこにどう使われているのか分かるようにすれば、もっと都市計画って市民の理解が得られるのだろうなと思ひます。そうすれば、支払意思額は上がっていくのです。あまを守るためにあなたはいくら払ひますかとか、福祉にいくら払ひますかという支払意思額という研究の手法があるのですが、それを上げていくには、目に見える形でやっていくほうがいいと思ひます。KPIもいいですが、分かりづらいKPIはあまりよくないだろうと思ひます。都市計画税もぜひ、分かりやすい使い方をしていただけるといいと感じました。</p> |
| 副会長 | <p>特に印象に残ったのが、あま市がいい街だということ、まず私たちが信じて、その魅力を発信していくことだということがものすごく心に残りました。子育て世帯の皆さんが、あま市に住むかについては、住宅の価格や通勤、名古屋からのアクセスがいいかというところは大きいと思ひます。教育についても、その学校に入りたいからここに住みたいなどの子育て支援の充実というものがとても大きな要因になってくると思ひます。</p> <p>その中で、あま市には本当に目に見えない良さがたくさんあると思ひます。例えば、今、保育園の待機児童がないというのは、名古屋に住んでいる人からすれば、待機児童がないってすごく助かることです。学童ひとつとっても、名古屋のトワイライトスクールは学校によって子どもたちの指導の内容が違って、少人数の先生方がたくさん子どもたちを見ざるを得ない環境になっています。同じ待機児童がいらないと言っても、単に学童の待機児童がないという学童と、本当にきちんと規則に則ってきめ細やかに子どもを見ている学童とでは、子育て支援の質が違うと思ひます。</p> <p>あま市は来年度から子ども福祉課が直轄でやっている学童クラブが委託されることになったので、多分そこでいろいろな改善がされると思ひます。下校時に学校のお迎えに行つて、一緒に付き添つて帰るといふこともされます。そういう本当に中のきめ細やかな良さというのは、住んでみてそれを利用してみないと分からないことなので、それを私たち</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>が、「ここは他の市町より優れている。手厚くやっってるんだ」と魅力を発信していくというのとても大事なことだと思いました。</p> <p>私どもが受託運営しているファミリーサポートセンターという子育て支援の事業があるのですが、それは他の市町では申し込んでもなかなかうまく利用できず、申し込んだ内容を引き受けてくださる方とのマッチングができない状況ですが、あま市のファミリーサポートセンターにおいては、本当に99%以上のマッチング率です。そこは現場の人が頑張っているところなのですが、それを他の市町から転入した方はびっくりされるんです。そういう数字では上がってこない部分の手厚い良さをまず私たちが知って、発信していくということは大事なことだと思いました。</p> |
| 会 長 | <p>この委員会には行動力と情報発信力のあるメンバーが入っていて、それは大きな強みだと思っています。そこでそれぞれの団体の人たちと意見を交換できればと思います。</p> <p>今回、総合計画と合体するという事で、総合戦略の委員会をどう運営するのかとずっと考えていたのですが、我々は目の前の課題、少なくとも3年以内には解決しなければいけないことに集中して、提案して議論してというような場にするのが一番いいかと考えました。せっかくお時間を2時間ほど割いていただいていますので、ただ事務局の説明だけ聞いて終わりではなくて、言いたいことを言って、納得して帰っていただくというような形で進めさせていただければと思っています。</p> <p>議題の(2)、本当は次期戦略の位置付けについてということで、質問がメインだったと思いますが、第1回ということもあって、皆さんの活動や思いを含めてお話をいただきましたので、事務局の皆様にもその思いを酌んでいただきたいと思っています。また、委員の皆様もこういう人間が集まっているということをもう一回考えていただいて、皆様の活動している団体、組織ならこんなことができるというようなことをご提案いただければと思っています。それでは、議題(2)が終わりました。続きまして、その他について、事務局からお願いいたします。</p> |
| | 4 その他 |
| 事務局 | <p>次回、第2回の審議会は3月17日(火)10:00~を予定しております。</p> <p>以上をもちまして、第1回あま市まち・ひと・仕事創生総合戦略委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p> |
| | 5 閉会 |